



やまぼうし



社会福祉法人 市島福祉会

認定子ども園 いちじま子ども園

〒669-4321

兵庫県丹波市市島町上垣138-1

(電) 0795-85-2330

(fax) 0795-85-2335

http://www.ichijima-kodomoen.com

子どもHP



<教育・保育理念>

受容・信頼・貢献感

いきよう

からいっぱい

ちぶんらしく

まっすぐに

ナーサリー(0~2歳児)

▼2歳児。

水あそびが大胆になってきました。

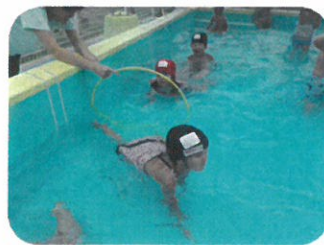


▲0歳児。ハイハイからつかまり立ちへ
そして歩けるようになってきました！
すごい成長です。



▼1歳児。

大きなスイカ！食べ物に興味いっ
ぱい！しっかり食べています。



▲3歳児。

ワニさん歩きや、フープくぐりが
できるようになってきています。

キンダー(3~5歳児)



▲5歳児。

小学校のプールで遊んで伏し浮きができるようになってい
ます。どろんこ遊びも思いっきり！



▲4歳児。

しっかり体を動かして体操
をしています。
水遊びも楽しんで
います。



▲毎日、雑巾がけをして腕が強くなってきました。今は跳び箱に挑戦中です！

伸びやかな身体の発達

8月の身体測定では子どもたちの身長が目を見はるほど伸びていて、ビックリし
ます。この時期、畑のサツマイモもツルが驚くほど伸びて葉も盛々としています。子
どもたちも植物と同じように成長しているようです。
太陽の光と、きれいな空気、十分な栄養、そしてまわりの人々の愛あふれるかかわ
りで、実りの秋に向けて子どもも植物もずっしりと大きく育っていくことでしょう。

倉橋惣三の言葉

親がわが子を叱るのは
自分を叱っているのである。

お前はお前はと、

よそごこのように

呆れてみたりする。

しかし、やがて

苦しくなってくるのは

自分自身である。

わが子を前に

引きすえておいて、

その実いつでもわれと

自分に身悶えしているのが

親である。

「育ての心」より

倉橋惣三(1882、1955)

「日本のフレイベル」あるいは「日本の幼児教育の父」と呼ばれる幼児教育学者。倉橋が展開した子ども
の心に徹底的に寄り添い、子どもの遊びや自発性を重視した幼児教育論は、まさしく現代に通じる
もの。誘導保育論が特に有名である。

